

## 46 下市かぶと虫の森 —カブトムシと遊びませんか—

正彦君こんにちは。

この前、カブトムシのことを話してくれましたね。お父さんが子どもの頃、カブトムシを捕(と)った山に連れて行ってきて、「このあたりにいっぱいいたんだ」と言っていたけれども1匹も見つからなかったというのは残念でしたね。

おじさんも小学校のころは天理市の山の中に住んでいました。正彦君のお家のある天理の町の商店街から東に8kmほど行った所で、すから、正彦君が連れて行ってもらったというあたりのことは知っています。友達と山の中を走り回り、カブトムシやクワガタを捕ったのは、今もなつかしい思い出です。

この前、「下市かぶと虫の森」のことを聞いて行ってきました。ひょっとしたら65年も前の昔にタイムスリップ、子どものころの思い出にひたれるかなと思ったのです。

吉野郡下市町にある「下市かぶと虫の森」は7月から8月にかけて開かれる施設です。広い雑木林を高さ5mのネットでかこんであり広さは600㎡、放し飼いされているカブトムシは200匹ということでした。



た。ですから、ここでは自然に近い状態のカブトムシを観察し、すもうや木登りをさせて遊ぶことができます。

おじさんが行った日も大勢の人がやって来ていて「もう帰ろうね」と言うお父さんに「もう少し遊ぼうよ」とお願いしている子どもがいました。

幹の一部にプラスチックを巻きつけ「のぼれるかな」と書いた木がありました。カブトムシはここから先はすべて登れないようでした。

「わたれるかな」と書いてある所は、木と木の間を少し離してあってここを渡れるかというのです。近くの木にいた虫を捕ってきてここに載せてみると6本の足をじょうずに使って左の木に乗り移りました。



「体重を比べてみよう」はカブトムシのシーソーです。どちらが下がるかで体重を比べることができます。大人にとっても楽しい遊び場でした。

一度遊びに行ってみませんか。そして、ルールを守って生き物と楽しく遊んでください。

(平成 22 年 7 月・小学校 2 年生の正彦君宛て)

## スポットの案内

下市かぶと虫の森は吉野郡下市町新住にあつて、例年7月の初めから8月中頃まで開かれています。開園時間は9:00~17:00、入園料は300円(3歳以上)です。

問い合わせは、下市町役場情報システム課(電話 0747-52-0001)内の  
下市地域づくり推進会議か下市アメニティセンター(0747-52-8234)  
内の大紀観光案内所まで。

## 理科のワンポイント「甲虫」

昆虫のうち、カブトムシのようにがんじょうな外骨格でおおわれているものを甲虫(こうちゅう)と呼んでいます。4枚の羽のうち前の羽が硬くなっていて飛ぶための薄い後ろ羽を守っています。

動物の分類では、節足動物門、昆虫綱、有翅昆虫亜綱、甲虫目としてまとめられています。これには、カブトムシ、クワガタムシ、カミキリムシ、タマムシ、ゲンゴロウ、ホタル、テントウムシ、ゾウムシなどのたくさんの昆虫が属しています。

そして、名前がつけられているものだけで、なんと 35 万種もあるというのです。したがって、食べるものもいろいろで、虫、腐った肉、動物の糞(ふん)、花の蜜、葉や樹木、樹液などといろいろです。そういえば、「奈良を理科する 奈良で理科する」の 49 ページに出てくるフン虫は奈良公園のシカのフンを食べていましたし、セミは木の幹に針のような口を差し込み樹液を吸っています。

甲虫の中には、タマムシのように硬い前羽が緑色や赤色のしまもようになっていてとてもきれいな昆虫もいます。これは、法隆寺の玉虫厨子(たまむしのずし)を飾っています。玉虫厨子は 7 世紀に作られた国宝で約 2600 匹のヤマトタマムシの羽が使われたといわれていますが今はほとんど見ることはできません。